

資料 35 新庁舎建設基本計画（案）に関する審議資料（平成 27 年 12 月 18 日）に関する意見とりまとめ資料

【①交通条件（P1）】

◆田中委員

- ・北側に偏っていて、山田、嘉穂、碓井から見たら不便を感じるし、市民平等の精神欠如を覚える。

【②地形条件・法的条件の把握（P4）】 ⇒ P8に整理

◆田中委員

ハザードマップによると氾濫時は 2.0~2.5m水位となる恐れ、こんな場所で救済の指揮が執る事ができるか。

【ハザードマップ（P8）】

◆有吉委員

・洪水ハザードマップによると、氾濫した場合には建設地は2~5mの水位になると予想されている。

→その対策は？

・ボーリング調査により建設地の地質の状況を調べる必要がある。

→調査の結果は出ていますか？

◆藤井委員

建設地の地質調査の調査目的

【災害対策本部（P8~P12）】

◆有吉委員

○新庁舎の災害時における「災害対策本部」について

・8P表 1-3 建設地と各庁舎の比較では碓井、嘉穂がリスクが低い。

・9P図 1-5 ハザードマップ（洪水）では、各庁舎周辺の冠水状況は碓井、嘉穂が少ない予想。

・12Pでの市庁舎の「災害対策本部」の機能について、建設予定地では十分な機能が果たせないではありませんか。碓井、嘉穂での「災害対策本部」機能の充実を考える事はできないでしょうか。

【耐震化強化対策（P12）】

◆藤井委員

・庁舎の安全対策

市に蓄積されている個人情報の管理について、大規模災害時のデータの損傷、情報の漏えい防止を目的とした情報管理の基本計画を立てる。

【2 敷地条件の整理（P12～17）】

◆藤井委員

○緊急輸送道路（P12～P17）

大規模災害発生時には、国道211号は大渋滞を起こすことが想定される。

・関係機関に緊急輸送道路の整備を申請すべき。

・現状の幅員を市はどう判断しているのか。（P17）

（質問）現状での、バックアップ体制はどうなっているのか。

【(2) 周辺環境への影響 (P14)】

◆田中委員

- ・例えば、“牛隈地区”でもクリアするのではないか。

【(3) 駐車場及び駐輪場の配置と必要台数】

◆有吉委員

①現庁舎の利用状況の整理（P21）

- ・来庁者の利用頻度は、年間0～6回78%
- ・利用目的「戸籍・住民票・印鑑証明」37% 「税金関係」18%
「国民健康保険・国民年金」15% でこの項目で7割

①現庁舎の利用状況の整理（P22）

- ・証明書関係での利用者が年間5万人

②来庁者及び職員の駐車場スペースの想定（P23）

- ・平均滞留時間（窓口）20分（窓口以外）60分

以上のアンケート結果から、利用者のニーズをどのように分析していますか。

⑤多目的広場の検討（P26）

◆有吉委員

・地域交流の活性化を図るためには、嘉麻市内の既存の施設を有効活用することが求められていると考えます。イベントには、駐車スペースを活用し、軽スポーツ及びNPO団体の活動に利用するための多目的広場は敷地内に設置する必要はないと思います。

◆村上委員

まつり、山笠などのイベントは、駐車場と広場を併せ多目的に利用できるようにしないのか。

以前も発言したように、雨の時でも、まつりなどで使用できるように排水、芝生の整備をした方がよい。

ア. 総務省の地方債同意等基準に基づく庁舎標準面積（P27）

◆有吉委員

- ・付加機能について 議会図書館について具体的に教えてください。
- ・市民ホールについて、具体的にどのようなものですか？嘉麻市内の既存施設活用で十分だと思います。

ウ. 類似規模の都市による新庁舎面積の比較 (P30)

◆ 廣瀬委員

- ・ 嘉麻市は職員数が他市に比べ まだまだ多い (367 人)

	市の面積 (k m ²)	職員一人当たり (k m ²)	
岩倉	10.47	0.040	※全国で下から 10 番めに狭い市
宍粟	658.6	2.63	※4 町合併で市
庄原	1,246	4.68	※西日本最大の広さの市
真庭	828.5	2.76	※5 町 4 村合併、木の庁舎
湯沢	790.7	2.13	※現在 4 万 6 千人 この中では人口激減
[嘉麻市]	135.2	0.368	

【③新庁舎延べ床面積の設定 (P30)】

◆ 藤井委員

- ・ 新庁舎の規模

行政サービスを提供する為の総職員数を基本とする。

- ・ 市の人口に対して、行政サービスを提供する為に必要な総職員数とする。

- ・ 市の人口想定を、平成 52 年度 (23, 246 人) 時期とする。

* 「社人研準拠」「日本創成会議推計準拠」を基に、嘉麻市独自の推計値。

(質問)

- ・ 表 3-3 の算定根拠 (表 3-4) (P30)

- ・ 延べ床面積の比較からみると、ウの類似規模の都市を基準にせず (表 3-4) 「国土交通省新庁舎基準」にした根拠

【(3) ゾーニングの考え方 (P33)】

◆廣瀬委員

- ・私はケース1を支持します。
 - ～多目的広場はR211からすこしでも見える方が良い
 - ～多目的広場は平日屋根なしの駐車場（一般利用）である

【(4) 配置計画の比較検討 (P34~36)】

◆有吉委員

- ・庁舎の玄関に階段部分が書かれていますが、どのくらいのかさ上げを予定されているのでしょうか。

【1 市民の安全・安心な暮らしを支える防災拠点となる庁舎（P38）】

◆田中委員

・浸水の危険がある上、位置が市の北側に偏っているのに、迅速な対応が出来るの。

【2 人にやさしい庁舎（P38）】

◆田中委員

・勿論の事です。

◆有吉委員

・書かれている内容については、当然のことであり、やさしさは人つまり職員の対応にかかっています。やさしいということばが庁舎に係るのは適切ではありません簡潔にまとめてください。

例：2 来庁者のニーズに対応できる庁舎

わかりやすい案内表示、個別の相談室を設置、市民のプライバシーに配慮したスペースの確保

【(4) 窓口の集約等 (P39)】

◆藤井委員

- ・ 来庁舎者と直接対応する部署の職員と来庁舎との対面方式の職員配置。
(質問) サイン計画の意味 (P 3 8)

[新庁舎において望ましい部署配置]

- ・ 市民参画推進室 (仮称) の設置。
男女共同参画推進室の名称を変更拡大して「市民自治基本条例推進と男女共同参画推進」を担当する。

【3 環境との共生、周辺との調和ある庁舎（P40）】

◆田中委員

・ 勿論の事です。

【4 住民サービス、事務効率の向上を目指した機能的な庁舎（P40）】

◆田中委員

・ 勿論の事です。

【(4) セキュリティ対策（P40）】

◆藤井委員

・ 高度なセキュリティ機能を有した隔離されたスペースの確保。
・ 個人情報の漏えい、新庁舎の自然災害等に対する情報の危機管理体制（システム）導入・・・新庁舎建設時に専門業者に依頼する。

【(5) 市民に開かれた議会機能（P40）】

【(6) その他の機能（P40）】

◆有吉委員

・ 議会空間の多目的利用について
・ 多くの人々が活用できる可能性についても調査検討
⇒ (5) と (6) について、どこで検討されるのですか。

【5 市民が気軽に来庁しやすい庁舎（P41）】

◆田中委員

山田、嘉穂、碓井の市民は遠くなるが。

◆有吉委員

この項目は要りません。市民は必要に駆られて庁舎を利用します。待合スペースは必要ですが、広く開放感のあるロビーは必要ありません。図書館・公民館・美術館・ホールなどの施設は、市民が気軽に利用できるための工夫が必要ですが、アンケート結果に表れているように、証明書、税金、国民健康保険、年金、相談などのために利用するのです。必要なのはわかりやすい配置、案内表示、職員の丁寧な対応です。多目的トイレ、授乳室、バリアフリーは、今から建設される公共施設には当然のことです。

【6 協働のまちづくりを支える拠点機能（P41）】

◆田中委員

・山田、嘉穂、碓井の市民には疎外感があるが。

◆有吉委員

嘉麻市のまちづくりには、各地域（碓井・嘉穂・山田）の活性化が不可欠です。新庁舎にあらゆる機能を集中することは、活性化を阻害します。嘉麻市全体の情報発信は必要ですが、まちづくりと活性化は、各地域にある既存の施設の十分な活用と住民の生活に配慮した支所機能の充実だと思えます。

【1 新庁舎の位置（P42）】

◆田中委員

・北側に偏っている。

【2 新庁舎の規模算定に係る基本要件（P42）】

◆田中委員

・計画	人口	25,000人
	庁舎内職員数	200人
	議員数	9人

これ程の編成にしないと、財政が立ち直れないのでは、移行期間は大隈小学校（耐震対策済み）等を活用するのも一案です。

◆藤井委員

【基本】

- ・市の人口に対して、行政サービスを提供する為に必要な職員数とする。
- ・市の計画最少人口を、平成52年度（23,246人）時期とする。
- * 23,246人は「社人研準拠」「日本創成会議推計準拠」を基に、嘉麻市独自の推計値。

【参考】 平成52年度（23,246人）を基に職員数

$$36,764 : 370 = 23,246 : X$$

$$\text{職員数}(X) = 234人$$

◆村上委員

人口推計については、国立社会保障・人口問題研究所が推計値を出しているが、平成32年建設時の推計値で想定すればいいと思う。何年、何十年も先の推計値を想定するとか、考えられない。

人口減少の悪い数値があるのなら、そうならないように市はまちづくりをしているのではと思う。

普通、家を建てる時に、何年、何十年も先のことを考えて、その時の家族の人数を考えて建てたりしない。

その家に住む人数などを考えて家を建てると思う。

【(1) 新庁舎の延床面積 (P43)】

◆有吉委員

赤字で書かれている部分からについて「将来人口の減少や職員数の関係を鑑み、できるだけコンパクトな庁舎とすることを重視し、新庁舎の延床面積は9000㎡を基本とします。」言葉では書かれていますが、人口減少・コンパクトな庁舎という事を考えて1P~42Pまでの内容と大きく変わるところはどこですか、具体的に記述して下さい。

◆藤井委員

- ・新庁舎は嘉麻市のシンボリックな要素を有し、将来のまちづくりの拠点となる建物

【(2) 駐車場及び駐輪場 (P43)】

◆藤井委員

- ①新庁舎建設時点の嘉麻市の将来人口を基本し必要台数の確保
 - ・市民の来庁者のピーク月(3月)を基本として駐車スペースを確保する。
- ②駐車場利用について
 - ・来庁舎は無料。
 - ・通勤費受給対象職員は有料(私有地活用との関係あり)。
 - ・議員については、来庁舎用駐車場を利用。

4 新庁舎の構造

【(1) 防災拠点としての庁舎 (P44・45)】

◆藤井委員

- ・ 専門家の意見を聞きながら、建物の構造上の工夫により対応できる建築物の検討を行いますとあるが。
 - 専門家には一に時点で聞くのか。
 - 建物の構造上の工夫～とは、具体的に何を何時検討するのか。
- ・ 「耐震安全性の分類」(I類:A類:甲類)「耐震安全の目標」(I類:A類:甲類)を適用しているがその適用根拠はなにか。
- ・ ①国土交通省新営一般庁舎面積算定基準を基準とした理由
- ・ ②新庁舎の延床面積は基本設計・実施設計にて確定していくとあるが「新庁舎建設基本計画(案)」時点と「基本設計・実施設計」及び「建設業者との契約(設計変更を含む)」時点で、特に建設費用に変更が生じた場合、市民等への対応をどう考えるのか

【1 新庁舎整備事業費及び財源（P46）】

◆田中委員

・財源

合併特例債は3分の1借金です、12.58億円は一般財源に加算しなくては、市民に誤解をあたえる。

◆有吉委員

40億円を上限額として設定することとします。とありますが住民説明会（H27.5月）及び、質問書提出時（H27.8月）に40億ありきではなく返済計画の金額設定が説明しにくいという事で40億で説明しますとのことでしたが、36億5千万から数カ月で40億になった根拠が解りません。また私が審議委員として選出されている団体（かま男女共同参画推進ネットワーク）への説明に来られた際に、庁舎建設の時期が東京オリンピックの準備と重なり、資材の高騰が予測され予算が増加する恐れがあると話されました。40億を上限とするのではなく、もっと低い金額で設定することと、コンパクトな庁舎の概要を審議会へ提案してください。

【参考：庁舎整備等に係る概算事業費（P47）】

◆有吉委員

- ・碓井庁舎について、耐震補強 H29 に 1 億 6 千万円、大規模改修 H3 2 に 3 億 3 千万円、H3 3 年以降に庁舎除去 9 千 9 百万円、建設 1 億 2 千 5 百万の事業費が見込まれていますが、市民感覚では到底理解できません。碓井庁舎の活用について再考してください。
- ・赤字の部分 市民への周知について審議会での意見を尊重してください。

【支所の規模及び機能について（P49～P50）】

◆有吉委員

・支所のあり方について 審議会ではまだ審議されていません。今後の嘉麻市のまちづくり、活性化に大変重要な課題と考えます。

◆廣瀬委員

・嘉穂地区

新しい街づくりの視点からは新支所は夢サイトかほそばがいい。現庁舎取り壊し後は、住宅地として転入者を募集してほしい。交通の便が山田地区よりいい。

◆村上委員

各地区に大きな庁舎を作り続けることができたら合併してないのではとも思う。庁舎については、行政の中心地として稲築に本庁舎ができるが、支所の充実や周辺環境整備については、地域の意見を聞きながら地域活性化を進めてほしい。

*** その他 資料要求 ***

◆藤井委員

新庁舎の敷地面積の一覧表

- ①庁舎の建築面積：附属棟の面積
- ②多目的広場
- ③前庭（エントランス）
- ④来庁舎・公用車駐車場
- ⑤職員駐車場